

## 2年生より～生活科の学習～

2年担任 高橋 明日香  
竹内 麻衣子

4月に進級してから6か月あまりが経ちました。2年生は、9月から生活科『はっけん くふう おもちゃ作り』の学習で作ったおもちゃで1年生を楽しませる計画を立て、取り組みました。

まず、自分の身近にある材料で工夫しておもちゃを作る学習をしました。今までに作ったことのあるおもちゃや、作れそうなおもちゃのアイデアを出し、自分が作りたいおもちゃの設計図をかきました。次に、おもちゃづくりに必要な材料（ダンボールやストロー、ペットボトル、竹ひごなど）や道具を考えて持ち寄り、いよいよおもちゃ作りに取り掛かりました。

作り始めると、なかなか思い通りに作れず苦戦している姿も多く見られましたが、友達同士でアドバイスし合いながら、世界に一つしかない自分のおもちゃが完成しました。

おもちゃ遊びの当日は1年生におもちゃ作りで大変だったことや工夫を紹介し、交流を深めることができました。ますますお兄さんお姉さんらしくなっていく2年生でした。



## 算数少人数指導について

算数少人数指導担当 鈴木 明美

本校では、3年生以上において学年全体を担任と少人数担当で2つもしくは、3つのコースに分けて習熟度別で学習を進めています。

算数少人数授業では、下記のようなことに気を付けて展開しています。

- ① 児童が主体的に活動に取り組めるものとする。
- ② 児童にとって楽しいものとする。
- ③ 児童にとって分かりやすいものとする。
- ④ 児童にとって感動あるものとする。
- ⑤ 教材を創造的、発展的なものとする。

ただ、「式や答えがわかる」「計算ができる」だけでなく、まず自分の考えをもち、友達と交流する中で互いの考えのよいところを見付けたり、自分の考えをさらに深めていく学習になったりするようにしています。

子供たちが「できるようになったよ。」「もっとためしてみたい。」と声があがるような授業になるよう心掛けています。



## 11月14日は開校記念日

副校長 宮島 淳一

東町小学校は、1913年（大正2年）11月14日に「東京市東町尋常（じんじょう）小学校」という校名で創立されました。大正時代と聞くと何だか昔めいた響きがありますが、銀座のデパートには初めてエスカレーターができ、近代化を目指し始めた時代でもありました。初代の西村新太郎校長先生は「一生懸命」を校訓として全校に取り組みせ、当時から勉強や運動が盛んだった記録が残っています。そして、4年後の1917年（大正6年）3月24日に第1回目の卒業式が行われ、男子90名、女子74名、計164名が本校を巣立ちました。それ以降、時は流れ、昭和・平成と時代のバトンを渡しながら、昨年度まで東町小学校を卒業した児童は、8503人を数えます。

時代とともに街並みが変わり、住む人々も変わり、東町小学校も国際学級校と大きく変化し、大正時代の面影もなくなってしまいましたが、校訓「一生懸命」の伝統は、確実に受け継がれています。全員で歌う児童たちの歌声。6年生たちの水泳記録会・連合運動会に臨む姿。全力で、本気で、一生懸命でひたむきな姿は、美しく、カッコよく、人の心を感動させます。これからも「一生懸命」の伝統を守っていきます。

### ※体育での忘れ物について

運動量の確保の観点から、体育着を忘れた場合、軽装で学習することになります。また、複数回続けて忘れた場合、見学になることもあります。体育館履きを忘れた場合は、マット運動などの種目によっては、裸足で参加することもあることをご了承ください。

まずは、忘れ物がないようにしっかり前日に準備をお願いします。